



知床科学委員会 しんぶん

エゾシカ・陸上生態系

ワーキンググループ NO. 2



「知床で今何が起きているの!?!」「どんな調査が行われているの!?!」など、タイムリーな情報をお伝えします。

構成メンバー

- 梶 光一 (東京農工大学教授 (座長))
- 石川 幸男 (弘前大学教授)
- 宇野 裕之 (道総研 環境科学研究所 センター 研究主幹)
- 川路 則友 (森林総合研究所 北海道支所長)
- 鈴木 正嗣 (岐阜大学教授)
- 常田 邦彦 (自然環境研究センター 研究主幹)
- 間野 勉 (道総研 環境科学研究所 センター 研究主幹)
- 日浦 勉 (北海道大学教授)
- 松田 裕之 (横浜国立大学教授)
- 宮木 雅美 (酪農学園大学教授)

今回の会議

10月29日 (土)
斜里町公民館ゆめホールにて、第2回
目の会議が行われました。

エゾシカ・陸上生態系 ワーキンググループって?

知床半島において、エゾシカや陸上生態系の管理をどのように進めるのか議論するための会議です。
この会議で出された意見をもとに、さまざまな事業が進められています。

必見! TOPIC

今冬のエゾシカ捕獲作戦、いかに!?

遺産地域内では、個体数が増加したエゾシカによる生態系への影響が懸念されています。生態系への影響を軽減するため、環境省では今冬も、関係機関と連携しエゾシカの捕獲事業を行います。



どこでやるの?



こんな捕獲方法を試します。

■シャープシューティング

餌付け場のシカの頭や首をライフル銃で狙撃する方法。シカが逃走して警戒心を高めないよう、その場のシカを全滅させます。



シャープシューティング

■仕切り柵 @ 知床岬

知床岬の台地上に設置された柵を使って、少人数でシカを追いこみ捕獲する方法



知床岬の仕切り柵

■囲いワナ

自動落下ゲート付き囲い柵の中に、エサでシカをおびき寄せて、捕獲する方法



囲いワナの自動落下ゲート

その他にも“くくりワナ”などなど…

効率的に捕獲できる方法を開発しているんだね!



今回話し合ったこと

- ① 第2期知床半島エゾシカ管理計画について
- ② 植生指標とモニタリング調査について
- ③ 今冬のエゾシカの捕獲について
- ④ 中長期的な目標について

注目!

① 植生指標とモニタリング調査について

遺産地域内でシカを捕獲する目的は、エゾシカによる生態系への影響を軽減することです。植生に深刻な被害が出ている地域はないか、捕獲事業を行っている地域の植生が順調に回復しているのかを、関係機関が協力しながら継続して監視（モニタリング）しています。

例えば、エゾシカの捕獲が始まって4年が経過した知床岬地区では、越冬するエゾシカの減少に伴い、草原台地上のクマイザサの植被率や高さが増加するなど、植生が徐々に回復していることが確認されています。

注目!

② 次なる知床半島エゾシカ管理計画へ!

知床半島エゾシカ管理計画は、エゾシカを適正に管理するため、「いつ」「どこで」「誰が」「どのような考え方で」「何を行うのか」を定めた計画書です。遺産地域内のエゾシカの管理は、全てこの管理計画に基づき行われます。

5年おきに内容の見直しを行うこの計画は、2012年3月末に切り替えの時期を迎えます。会議では、2012年4月からスタートする第2期エゾシカ管理計画について、内容の最終確認を行いました。今後、この計画は、住民説明会やパブリックコメント

トを通じて広く一般のみならず、さまざまな意見を頂戴し、正式に最終決定する予定です。

エゾシカ増えた! どうする??

エゾシカ管理計画

住民説明会

知床のエゾシカ管理の考え方「知床半島エゾシカ保護管理計画」や、この冬のエゾシカ対策について、住民の皆様にわかりやすくご説明します。

【羅臼】

日時 12月12日(月) 18時~20時

場所 羅臼町役場 1階会議室

【斜里】

日時 12月14日(水) 18時~20時

場所 知床世界遺産センター レクチャールーム

いずれも参加費無料・予約不要です。

▲亜高山帯での植生調査の風景



会議の内容をもっと知りたい方はコチラ

知床データセンター
<http://dc.shiretoko-whc.com/>

他にも知床で行われている様々な研究データをご覧いただけます!



■問合せ先■
 環境省釧路自然環境事務所
 〒085-8639
 北海道釧路市幸町 10-3 釧路地方合同庁舎 4 階
 TEL 0154-32-7500 FAX 0154-32-7575

エゾシカは知床の生態系の重要な一員であり、貴重な自然資源です。植生回復のためにはシカの生息数を減らすことが喫緊の課題ですが、植生の反応や生態系への影響を継続監視していくことが大変重要です。世界に誇れる知床の自然を次世代に引き継いでいく活動に、少しでも貢献できたらと思っています。

委員 宇野裕之

委員の宇野です。



学生時代はヒグマの調査で知床に。現在、主に阿寒や胆振のフィールドで、エゾシカの生態について研究中。